

# 卒業証書授与式



あれから6年、こんなに凛々しくなりました！

3月19日 仁科小学校卒業式

施政方針・大綱質疑

2～4

臨時会・3月定例会

5～9

一般質問

13～21

議会の動き

22～23

議会だより、定例会一般質問動画は、西伊豆町ホームページでもご覧いただけます。



# あなたの声が届く町政へ

## 令和8年度 西伊豆町長 施政方針 (抜粋)

### 町政運営

町政運営の基本的な考え方としては「あなたの声が届く町政へ」「誰もが住み続けられるまちづくり」「子育て応援」に力を入れてまいりました。今後も同じ考えのもと、町民の声を大切にし、「持続可能なまちづくり」に取り組んでいきたいと思ひます。

予算の根幹に関わる歳入につきましては、人口減少や高齢化に伴う課税客体の減少はあるものの、町税に関しては、7年度当初と同程度を見込んでおります。8年度から大きく変化したものとして、入湯税の引上げに伴い3000万円ほどの増額が見込まれます。この財源は主に観光地整備や観光政策などに重点的に配分し、誘客促進につなげたいと思ひます。

### 防災・災害対策

突発的な地震津波から町民の命を守るために、津波避難タワーを今までに6基建設してまいりました。現在、西伊豆町で進めている200メートル圏内に高台を用意するという施策では、宇久須浜地区の整備を行うことで、避難困難区域が解消されます。8年度においては用地を確定させ購入

し、必要な調査を行っていきたいと思ひます。避難誘導看板の設置に関しては、仁科・安良里と順次整備をしてきましたので、8年度は田子地区内に設置を考えています。

### 医療福祉施設の課題

現在、西伊豆町内の多くの医療関係施設と福祉関係施設が、津波浸水想定区域内に存在しています。その多くが民間事業者であるため、行政が何かをできる領域ではありませんが、いざとなった時に「手を打っておけばよかった」とならないような対策が必要です。7年度末に委員会を立ち上げ、8年度においても情報の共有や、今後の在り方についても連携する必要があるため、町としてもしっかりと向き合っていきたいと思ひます。

### スポーツ合宿誘致事業

7年度から行っているスポーツ合宿誘致事業は、多く

の方にご利用いただいております。しかし、他の自治体で行っている状況に比べるとまだまだ伸びしろのある分野であり、より積極的なPRを行っていく必要があります。この事業によって西伊豆町を知ってもらう・西伊豆町に来るきっかけになるという状況を盛り上げ、交流人口の増加と観光閑散期の誘客・リピーターの獲得に努めたいと思ひます。

### 斎場建設

既存の西豆衛生プラント組合に斎場事業が組み込まれ、「西豆広域行政組合」として動き出しました。事業については8年3月に建設にかかる入札を執行し、組合議会において、契約に関する議案が上程される予定です。この議案が可決されますと、正式に工事着工となり、9年4月稼働に向け動き出します。現在、使用している斎場に関して



施政方針を述べる町長

は、今後1年間利用した後、当分の間は何かあった時の代替施設として確保することも必要と考えますが、一定期間経過後には地区や町民の皆様のご意見などを伺った中で、今後の方針を決めていきたいと考えております。

### メディア戦略・誘客宣伝

7年度においては、大変光栄なことに、ロケツーリズムアワードにおいて観光庁長官賞を受賞することができました。今後もメディアでの露出を増やし、西伊豆町の知名度を上げていきたいと思っております。

### 漁業

地球温暖化の影響もあってか海の中は良い漁場とは言えない状況にあります。このような厳しい環境下においても、漁業者の所得向上と持続可能な漁業の実現に向けて、新たな取り組みを進めてまいります。西伊豆町仁科は全国有数の天草の産地でもありましたので、この技術で復活させ、再びその栄光に輝くことを期待しております。また、西伊豆町が取り組んでいる「海業」には多くの関心が集まっており、漁港周辺は賑わいを取り戻しつつあります。海を活かした体験型観光の推進により、漁業者の副収入確保と観光振興の両立を図っております。漁業者自らが観光客と直接つながる「海業」の取り組みを一層推進し、漁業所得の多角化を支援してまいります。こうした海業の展開

に伴い、漁港を訪れる観光客や体験参加者が増加していることから、受入環境の整備も急務となっております。

仁科漁港にある公衆トイレは、設置からかなりの年月が経っており、老朽化・清潔感の観点からも改修の要望が多数寄せられておりました。今後も利用者の増加が見込まれることから、8年度において既存の公衆トイレを取り壊し、仁科漁港内に新たな公衆トイレを設置して、漁業者の作業環境改善と観光客の受入環境向上の両面から漁港の機能強化を図ってまいります。

### 農業

8年度から「耕作放棄地再生・高単価園芸導入促進事業補助金」を新たに創設いたします。この制度は、放棄されている農地の再生と高収益な園芸作物の導入を一体的に支援するもので、農業者が安心して新たな挑戦ができる環境を整えてまいります。西伊豆町は温暖な気候という地の利があり、この特性を活かした施設栽培や集約的栽培により、単位面積当たりの収益性を大幅に向上させることが可能です。農業意欲の向上と所得の増加を実現し、持続可能な農業経営の確立を目指してまいります。

### ふるさと納税

ふるさと納税に関しては過去の実績にとらわれることなく、現在の置かれている状況をよく理解し、少しでも多

くの方に寄附をいただける環境を整えなければなりません。以前と同じように役場の一事業として行うには限界があり、他の自治体でも行っているように業務を外注し業績の回復をすべく、7年度末にプロポーザルを行うところであります。6年度末にもポータルサイトの運営に関するプロポーザルを行いました。町が求めていた提案内容と合致せず、契約には至りませんでした。結果として、既存の管理方法での対応となり、7年度も改善に向かうことができませんでしたので、再度外部にお願いをすることといたしました。

### 国際交流事業

6年度から始めた国際交流事業の台湾への中学生派遣は、生徒・保護者からも様々な経験ができることに関して大変良い評価をいただいております。一度他の国を見ることによって視野も広がりますし、日本の置かれている現状や他との違いを認識するとともに、今後の自分の進路や学びに関しての一助になってくれればと思います。8年度においても12人分の派遣費を計上し、派遣生徒の募集を行っていききたいと思います。

### 高齢者移動支援

移動困難な高齢者の支援として、バス券の販売を継続するとともに、タクシー支援については現状の1社対応から2社での対応に拡充いたしま

す。また、大沢里で行っている『ささえ愛にしいず』の活動を継続していただくとともに、7年度には宇久須地区において実証実験を行ったところ。個人運転ボランティアに関しては8年7月以降に実施し、その結果を踏まえ9年度からの本格始動に向けた検証を進めてまいります。

#### 堂ヶ島観光エリア

西伊豆町の観光の顔でもある堂ヶ島周辺は、各事業所の皆様のご尽力があるものの、観光立町としてしっかりと整備をしていかななくてはなりません。7年度まで黄金崎の整備を行ってきましたので、8年度から着手したいと思えます。まずは国・県などと連携するために1年間をかけて堂ヶ島観光地エリア景観計画

などを策定し、複数年にわたって事業を展開してまいります。

#### 地域課題

各地区において継続事業や新規事業を実施していくほか、小規模な要望に関しては、随時対応をしていきます。また緊急性のある案件については、早急に対応できるように予算を確保します。

## 大 綱 質 疑

#### 医療福祉施設の課題

**質問** 津波浸水想定区域内にある施設は、民間事業者であることを理由に行政が関与できないとは消極的ではないか。

**町長** 原則は民間主体ですが、有事を想定すれば放置できない課題と認識しています。

#### ふるさと納税

**質問** ふるさと納税業務委託に係る6年度プロポーザル不調の理由と7年度重視した点は。

**町長** 6年度は提案内容が町の方針と合致せず不採択となりました。7年度は新たにこういった取組をすれば、改善できるという明確な提案を重視しました。

#### 国際交流事業

**質問** 台湾派遣事業に加え、町内在住外国人との交流や小学生への裾野拡大を図ることは可能か。

**町長** 各校にALTを配置済み

です。地域在住外国人の活用は否定しませんが学校判断が必要です。教育委員会と検討します。

#### ごみ処理

**質問** ごみ処理施設広域化の一部事務組合解散後の進め方は。

**町長** 1市2町になるのかは、これからしっかりと吟味をしていかなければならないと考えます。8年度以降は積極的に町単独でいろいろな考えを練る時期に来ているのかなと思っていますので、状況を随時議会にご報告、提案したいと考えています。

#### 農業

**質問** 「耕作放棄地再生・高単価園芸導入促進事業補助金」を創設する経緯は。

**町長** 耕作放棄地が増えている事実があり一部、栽培を拡張して耕作放棄地を解消するという事業者さんがありますが、そちらだけに頼っ

て解決できる問題ではありません。また価格が安いものをつくり続けても収入は見込まれず、高収益や付加価値をつけ生業になる農業でなければ、耕作放棄地の解消などできません。初めの一步を踏み出す時に、元手がない状態で促してもできませんので町が後押しするために創設いたしました。

#### サンセットコイン

**質問** 新たなサンセットコインが4月1日から順次、ご利用可能とのことですが順次とはどういうことか。

**町長** 当然のことながら今までのサンセットコインにご加入されていなかった店舗さんが4月2日から使えるようになる可能性もあります。広い意味で言えば、取扱店が段階的に増える可能性があるので順次ということ。です。

## 第5回臨時会

令和7年12月22日

南伊豆地域清掃施設組合  
規約の一部変更(第60号)、  
解散(第61号)、  
解散に伴う財産処分  
(第62号) (全員賛成)

南伊豆地域清掃施設組合の  
解散に伴う審議をしました。

一般会計補正予算  
(第6号) (全員賛成)

歳入歳出にそれぞれ460  
万8千円を追加し、予算総額  
は90億4287万1千円です。  
債務負担行為補正は、地方創  
生人材支援(派遣)制度負担  
金1000万円以内の金額を8  
年度以降に支払います。

問 どのような方の派遣を考  
えているのか。

答 地域DMO設立に向け  
て、観光に精通された企業  
の方から選びたいと考えて  
います。

### 特別職報酬等の額について(答申)

令和7年12月19日付、西総第379-2号により諮問を受けました標記の  
件につき、広範な角度から慎重に審議を重ねたところ、以下のとおり結論を得たので  
答申いたします。

#### 記

##### 1. 特別職報酬等の額について

町長、副町長、教育長の給料の額

町長、副町長、教育長の給料の額については、次に掲げる額に改定するこ  
とが適当と判断する。

役職名	現行額(月額)	答申額(月額)
町長	612,000円	673,000円
副町長	520,000円	572,000円
教育長	458,000円	512,000円

## 第1回臨時会

令和8年1月20日

特別職の職員で常勤の者  
の給料等に関する条例の  
一部を改正 (全員賛成)

特別職の給与は、西伊豆  
町特別職報酬等審議会に諮問  
し、答申に基づき、給与を改  
正するものです。

職員の給与に関する条例の  
一部を改正 (全員賛成)

人事院勧告に準拠し、職員  
の給与などの改正を行います。

手数料徴収条例の一部を  
改正 (全員賛成)

国が定めた統一基準に基づ  
き、情報システムを統一、共  
通化したことで評価証明書の  
種類が変更になるものです。

安良里漁港浚渫工事変更  
請負契約の締結(全員賛成)

現契約額1億1000万円  
に、2101万円を増額し、総  
額で1億3101万円とするも  
のです。主な増額要因は、浜  
川・宮川のグラブ浚渫土量の  
増加と安定処理工の追加、人  
力浚渫工の増加です。

一般会計補正予算(第7号)  
(全員賛成)

歳入歳出にそれぞれ1億  
8898万9千円を追加し、予算  
総額は92億3186万円です。  
主な歳入は、重点支援地方交  
付金1億4532万円で、新サン  
セットコイン事業実施の財源  
とします。主な歳出は、給与、  
手当、共済費を含む人件費全  
般の2085万7千円です。

国民健康保険特別会計補正  
予算(第2号)(全員賛成)

歳入歳出にそれぞれ194  
万8千円を追加し、予算総額  
は12億7000万円です。

介護保険事業特別会計補正  
予算(第2号)(全員賛成)

歳入歳出にそれぞれ74  
万6千円を追加し、予算総額  
は15億3900万円です。

サンセットコイン事業特別  
会計補正予算(第2号)  
(全員賛成)

歳入歳出にそれぞれ1億  
4532万円を追加し、予算総額  
は20億9335万8千円です。

特別職報酬等の額についての答申

# 西豆新斎場建設 始まる

開催期間	3月3日から3月13日まで
審議した案件	町長提出議案 22件 同意 1件 発議 1件
可決した議案	令和8年度一般会計予算 ほか5つの特別会計予算 一般会計補正予算(第9号) ほか4つの特別会計補正予算 条例の制定3件 条例の改正4件 条例の廃止2件 町道の認定1件 請負契約の変更1件 同意1件 発議1件

## こんなことが、決まりました。

### 一般会計予算 (全員賛成)

8年度予算総額は77億500万円となり、前年度と比較して9億4500万円の減額となりました。この主な要因は、大型の建設事業が一巡したことに加え、ふるさと応援寄附金や基金からの繰入金が増加する見込みとなったためです。

歳入は、道路改良や漁港維持、津波避難タワー整備などの建設事業費が減少です。その一方で、新斎場建設に伴う広域行政組合への負担金が増額となったほか、指定避難所への修繕補助、老朽化した役場本庁舎の受水槽設置替、耐用年数を過ぎたOA機器の更

新など、住民の安全や業務効率化のための予算が計上されています。

歳入は、自主財源が前年度比で6億2883万6千円減の33億7233万5千円となり、特にふるさと応援寄附金は2億5000万円の減収を見込んでいます。依存財源も前年度比3億1616万4千円減の43億3266万5千円となりましたが、建設事業などの財源として町債は3億3500万円増額されました。

### 林業振興費

4865万円

**問** 林業振興費の減少は整備事業の後退を意味するか。

**答** 粛々で行います。なお、森林整備にかかる補助金は、事業者の申請予定に基

づく減額になります。

### 指定避難所等修繕補助金

2000万円

**問** 指定避難所等修繕補助金とは。

**答** 指定避難所となっている堂ヶ島温泉旅館組合加盟の大型ホテルなどに、避難のために必要な改修の補助金を交付します。

### 西伊豆町PR冠試合

450万円

**問** 西伊豆町PR冠試合はどう続けていくのか。

**答** 補助金とふるさと応援基金を充てますが、8年度は1人当たり1000円の参加負担金もいただきます。

### 国民健康保険特別会計予算 (全員賛成)

予算総額は12億400万円で、前年度より400万円の減額です。加入者数は減少傾向にあり、8年2月時点で、1,658人です。

**問** 基金からの繰り入れが増えた要因は。

**答** 出産育児一時金等繰入金  
の制度がなくなったこと  
と、県の基金減少により納  
付金の抑制ができなくなっ  
たことが要因です。

### 後期高齢者医療特別会計 予算 (全員賛成)

予算総額は3億6000万円で、前年度より1400万円の増額です。主な歳入は保険料と一般会計からの繰入金で、歳出の中心は広域連合への納付金です。制度加入者は、8年2月時点で2204人です。

**問** 保険料に子ども・子育て  
支援金分が増えることへの  
説明は。

**答** 少子化で社会保険制度が  
変わるという詳細な情報を  
住民にお知らせします。

### 介護保険事業特別会計予算 (全員賛成)

予算総額は14億1000万円で、前年度より200万円の増額です。高齢化が進む中で、介護保険サービスを安定して続けるための予算です。保険

給付費のほか、地域支援事業費なども計上されています。

8年度は、介護職員の処遇改善のため、国の臨時の報酬改定が行われる影響で、保険料に不足が生じる見込みです。この不足分は、これまで積み立ててきた基金を取り崩して対応します。

**問** 基金繰入金が前年度に続き増えているが、想定  
の範囲内か。

**答** 計画は3年単位で組み立  
てており、トータルでは想  
定の範囲内です。

### 水道事業会計予算 (全員賛成)

収益的収入は収入が2億3755万6千円、支出が2億104万3千円となりました。また、施設整備にあたる資本的支出が2億9196万1千円と大きく増えており、水道施設の更新や耐震化を重点的に進めます。主な事業は安良里地区から田子地区への災害時緊急連絡管の整備、送配水管

路の耐震化、非常用給水タンクの詳細設計などが予定されています。

**問** 大型事業が多いが、工事業者や職員で対応はできるのか。

**答** 入札参加業者の状況を踏まえ、工期と時期を想定した発注計画を作成しており、問題ありません。

### 温泉事業会計予算 (全員賛成)

収益的収入は収入が9543万円、支出が9450万5千円となりました。資本的支出は6020万1千円で、前年度より増額となっており、温泉設備の更新を進める内容です。

**問** 赤字の宇久須温泉で収入を増やす見込みはあるか。

**答** 加入者が増える見込みは少ないですが、移住担当と連携し、温泉が引けることを付加価値として物件を紹介していきます。



西伊豆町PR冠試合(ベルテックス)

**過疎地域持続的発展特別  
事業基金条例を制定  
(全員賛成)**

過疎地域の持続的な発展を支えるため、新たな基金を設けました。住民が将来にわたって安全・安心に暮らせる地域づくりを進めるために活用していくものです。

**通園支援の基準を定める  
条例を制定 (全員賛成)**

8年4月から始まる、「こども誰でも通園制度」に対応するため、設備や運営の基準を定めました。

**景観まちづくり条例を制定  
(全員賛成)**

町の景観を守り、よりよいまちなみづくりを進めるため、景観条例を制定しました。

景観計画区域は町全域とし、黄金崎公園周辺と堂ヶ島公園周辺を重点地区として位置づけます。

**問** 重点区域（堂ヶ島周辺など）の範囲について、地番で区切るのか、あるいはニュアンス的な考え方か。

**答** 景観計画の中でエリアを地図で示しており、堂ヶ島公園周辺から沢田地区、つば沢バス停付近までを含んでいます。

**町道路線を認定  
(全員賛成)**

仁科地内で整備している道路を、新たに「東耕地2号線」として町道認定しました。延長は248メートルで、認定後は町が維持管理を行います。

**非常勤特別職の報酬条例  
の一部を改正 (全員賛成)**

非常勤特別職の報酬に関する表現を整理し、条例の文言を分かりやすく整えました。制度の中身を大きく変えるものではなく、運用上の整理を図る改正です。

**給与条例の一部を改正  
(全員賛成)**

保育教諭や看護師など、専門性の高い職員の処遇改善を図るため、経験や能力のある職員が、より適切に評価される仕組みへ見直しました。

**基金条例の一部を改正  
(全員賛成)**

各基金について、債券運用に関する規定や文言を整理し、ルールの一貫を図りました。あわせて、企業版ふるさと納税基金の積立規定も実運用に合わせて見直しました。

**公務災害補償条例の一部を  
改正 (全員賛成)**

非常勤消防団員などの公務災害補償について、国の制度改正に合わせて補償額などを見直しました。消防団員等の処遇に関わる制度を、現行制度に沿った内容に整えたものです。

**問** 扶養親族の加算対象から配偶者（事実婚を含む）が削除された理由は。

**答** 給与法の改正に伴い、配偶者に係る扶養手当の規定が改正されたことに準じたためです。

**津波避難タワーの建設  
契約を変更 (全員賛成)**

仁科築地地区津波避難タワー工事の契約額を、974万6千円増額し、2億9134万6千円に変更しました。

足場の追加、湧水への対応、防食性能を確保するための施工変更などが主な理由です。

**サンセットコイン条例を  
廃止 (全員賛成)**

サンセットコイン事業の資金管理方法を見直すため、特別会計条例を廃止します。8年度からは、特別会計ではなく歳入歳出外現金として管理する方式に変わります。

**一般会計補正予算(第9号)**  
(全員賛成)

事業完了に伴う精算などにより一般会計を10億5447万1千円減額し、総額を81億8900万円としました。

年度末に向け、実績や見込みに合わせて予算を整理したものです。

**月原残土処理場の運営**

**1231万円増**

**問** 委託料の増額の要因と、今後の使用可能期間は。

**答** 当初見込みを大幅に超える搬入があり、整地や交通整理の経費が増加しました。当初は10年維持する計画でしたが、2年で約48%が埋まっており、あと5年程度しか持たない可能性があります。

**林業振興費**

**1212万円減**

**問** 減額と、切り捨て間伐への変更の背景は。

**答** 木質バイオマス発電事業中止に伴い、燃料材を搬出する利用間伐をやめて、切り捨て間伐に変更し、採算が合わない材を無理に出さないようにしたためです。

**健康アプリ事業委託料**

**550万円減**

**問** 減額要因は。

**答** 共同利用している他町村との協議で、大幅な改修は行わず現状のまま継続利用することになったためです。

**消防団年額報酬**

**190万円減**

**問** 減額となった理由は。

**答** 予算では230名分を見込んでいましたが、実人員が208名であったためです。

**予算総額**

**約10億円減**

**問** 予算が減額されるということは、町が当初、やりたかったことが十分に達成できなかったという側面もあるのではないかと危惧しているが。

**答** 主な要因はバイオマス事業の中止と、ふるさと納税(寄附金・返礼品合算)の実績精査によるものです。予算がないと事業ができないため当初は厚く積みますが、年度末に実績に合わせて整理した結果です。

**後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)**

(全員賛成)

保険料や諸収入の増加に伴い、917万6千円を追加し、総額を3億5900万円としました。徴収した保険料の増や、広域連合からの返還金などを反映したものです。

**サンセットコイン事業特別会計補正予算**

(全員賛成)

新システムへの移行に伴い、2月1日から個人チャージを中止したため、4億7978万4千円減額しました。本年度の見込み額に合わせ

て予算を見直したものです。

**水道事業会計補正予算(第1号)**  
(全員賛成)

前年度決算の確定に伴い、減価償却費の増額分として、65万円を追加し、事業費用を2億242万3千円としました。企業会計の仕組みに合わせて必要な補正を行ったものです。

**温泉事業会計補正予算(第1号)**  
(全員賛成)

減価償却費の増額分として72万1千円を追加しました。人事異動により人件費が207万9千円減額です。これにより、事業費用は135万8千円減の9290万円となり純利益は36万7千円から172万5千円へ増加しました。

**教育委員会教育長の任命について**  
(全員賛成)

鈴木秀輝教育長の任期満了に伴い、新たに森真治さんを任命することに同意しました。

任期は、8年4月28日～11年4月27日です。



もり しんじ 森真治氏(田子)

# 県へ提出する意見書を審議

静岡県立下田高等学校南伊豆分校の存続を求める意見書

(賛成7：反対2)

静岡県立下田高等学校南伊豆分校は、賀茂地域における高等教育の中核となっている。廃校は教育機会の不平等と地域衰退を招くため、存続に向けた再考と教育機能の維持・充実を強く要望し、静岡県に意見書を提出する。

**原案に賛成**：県は賀茂地区の高校編成で、突然、南伊豆分校の閉校方針を示しましたが、議論の経過は不透明で、基準とも整合しません。地域に根差した教育と農業人材育成の拠点を失うことは大きな損失です。また、卒業生の定着率も高く、地域の人口減少対策にも大きく貢献しています。以上の観点から、南伊豆分校存続の意見書提出に賛成します。

提出先 静岡県知事  
静岡県教育委員会教育長

## 議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 圭祐	土本直矢	中島 健	磯 清彦	河内ひとみ	山本 豊	加藤タツ子	浅賀元希	仲田慶枝	高橋敬治	議決結果
12月臨時会	南伊豆地域清掃施設組合理約の一部を変更する規約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	南伊豆地域清掃施設組合の解散について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	南伊豆地域清掃施設組合の解散に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	一般会計補正予算(第6号) [460万8千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
1月臨時会	特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	職員の給与に関する条例の一部を改正 [職員のボーナスなど各種手当を改正するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	手数料徴収条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和7年度安良里漁港浚渫工事変更請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	一般会計補正予算(第7号) [1億8898万9千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第2号) [194万8千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	介護保険事業特別会計補正予算(第2号) [74万6千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	サンセットコイン事業特別会計補正予算(第2号) [1億4532万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
3月定例会	専決処分の承認を求めることについて (静岡県市町総合事務組合理約の一部を変更する規約について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認
	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度西伊豆町一般会計補正予算(第8号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 圭祐	土本直矢	中島 健	磯 清彦	河内ひとみ	山本 豊	加藤夕ツ子	浅賀元希	仲田慶枝	高橋敬治	議決結果
3 月 定 例 会	過疎地域持続的発展特別事業基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	景観まちづくり条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	職員の給与に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	財政調整基金等の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正 [上位法令改正により引用箇所を改正するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	仁科築地地区津波避難タワー建設工事変更請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	サンセットコイン事業特別会計条例を廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	サンセットコイン事業基金条例を廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	一般会計補正予算(第9号) [10億5447万1千円を減額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) [917万6千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	サンセットコイン事業特別会計補正予算(第3号) [4億7978万4千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	水道事業会計補正予算(第1号) [65万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	温泉事業会計補正予算(第1号) [135万8千円を減額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和8年度 一般会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和8年度 国民健康保険特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和8年度 後期高齢者医療特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和8年度 介護保険事業特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
令和8年度 水道事業会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
令和8年度 温泉事業会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
静岡県立下田高等学校南伊豆分校の存続を求める意見書	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	—	可決

議長（高橋 敬治）は採決に加わりません。

# 新年度予算 10.9%減 (一般会計)

## 収入(歳入)

給料 (町税等)	8億3694万8千円
実家からの仕送り (地方交付税等)	28億4963万8千円
兄弟・姉妹からの援助 (国・県補助金)	6億9536万7千円
副収入 (ふるさと納税等)	7億6004万5千円
貯金取り崩し (繰入金)	14億7218万2千円
バイト代 (その他の収入)	1億6522万0千円
借金 (町債)	9億2560万0千円



一般会計予算を家計簿にたとえて  
作表しました。

収入合計 77億500万円

## 支出(歳出)

生活費 (総務費)	10億6928万7千円
年金・保険料等 (民生費)	11億3539万3千円
薬代・ごみ処理代 (衛生費)	12億4965万1千円
農薬代・養魚飼育餌代 (農林水産業費)	3億0836万8千円
商品購入・旅行代等 (商工費)	8億6591万9千円
家屋修理代 (土木費・災害復旧費)	5億3203万3千円
消火器購入 (消防費)	5億0852万6千円
学費仕送り (教育費)	7億0065万9千円
ローン返済 (公債費)	4億0041万7千円
区・町内会費 (議会費)	6136万3千円
貯金 (諸支出金)	8億6338万4千円
へそくり (予備費)	1000万0千円

支出合計 77億500万円

## (特別会計)

会計名	歳入歳出総額	前年度対比	増減(%)
国民健康保険特別会計	12億0400万0千円	△400万0千円	△0.3
後期高齢者医療特別会計	3億6000万0千円	1400万0千円	4.0
介護保険事業特別会計	14億1000万0千円	200万0千円	0.1
水道事業会計	5億2951万7千円	1億2837万8千円	32.0
温泉事業会計	1億5563万1千円	1581万9千円	11.3

※水道事業会計及び温泉事業会計は、収益的収入と資本的支出の合計額です。

## 堂ヶ島地域の現状は

### (町長) 観光地として再整備が必要



なか じま たけし  
中 島 健 議員

**質問** 観光施設の減少や、火災の影響なども含め、堂ヶ島地域の現状をどのように受け止めているのか。

**町長** 観光地として再整備が必要であると考えていますが、民間所有のものには、町として、手をつけづらいものもあるため、8年度から、景観計画を作成し、対応をしていきたいと考えています。

#### 観光振興に関する取組は

#### ネームブランドを活用

**質問** 町が進めてきた観光振興に関する取り組みや、考え方は。

**町長** 堂ヶ島のネームブランドを活用し、誘客宣伝を行うとともに、平成24年度から堂ヶ島エリアの再整備を実施してきました。

町には、日本一の夕陽、堂ヶ島の雄大で風光明媚な自然景観、伊豆半島ジオパークの資源など、世界に誇れる魅力があります。こ

れらを未来に向けて守っていかうと考えています。

#### 民間避難施設の活用は

#### 現状は指定していない

**質問** 町内に存在する活用可能な民間の建物を調査して、把握を進めてはいかがか。

**町長** 町が診断をすることで資産価値を減少させる事にもなりかねません。所有者さんに不利益を与える可能性があるため、診断をすることは二の足を踏まざるを得ないのが現状です。

**質問** 民間避難施設を活用した避難訓練を実施し、町民が日常的に避難先を認識できる体制を構築しては。

**町長** 現状としては民間の建物で指定している避難施設はございませんが、区と建物の所有者で話し合いを行い、有事の際は避難場所として使用できるようになっている施設もございます。



観光地、堂ヶ島のこれからは



かとう たつこ  
加藤 タツ子 議員

## 火災発生時の初動体制は (町長) 消防団の部長以上にメール配信

**質問** 森林火災や住宅火災発生時の初動体制は、どのようになるか。

**町長** 火災発生時の初動体制は下田地区消防組合本部より火災発生メールが消防団の部長以上の個人メールに一斉配信され、地区担当分団が出動する体制です。

### ヘリコプターの要請は

#### 県知事の指示要請

**質問** ヘリコプターなどの県や国への要請はどのようになるか。

**防災課長** ヘリコプターの要請は、基本的には県が窓口として行われます。町から応援要請を受けた県知事の指示により、県防災ヘリや県内市町所有の消防ヘリなどが連携し、複数体制で消火にあたります。

**質問** 森林火災が発生した場合どうなるか。

**防災課長** 大規模火災が発生した場合、町から近隣市町への応援依頼を行います。

県内の自治体や消防組合と静岡県消防組合相互応援協定を締結しています。これにより、境界線を越えて消防車や隊員などの相互応援が行われます。

**質問** 県で足りない場合は。

**防災課長** 火災の規模が大きく、県内の力では足りない場合は、県からの要請により全国から緊急消防援助隊が派遣されます。また、大規模支援として、町からの要請を受けた県知事が、自衛隊に対して災害派遣を要請します。

### 移動車両投票所の検討は

#### リスクがあり設置は難しい

**質問** 選挙投票時にお手伝いが必要な人に町はどのような対応をしているか。

**町長** 町では、お手伝いが必要な人に受付で事務主任者が直接お声がけして口頭で要望を聞き対応しています。

**質問** 移動車両投票所は検討したことがあるか。

**町長** 移動車両投票所は、二重投票や別人投票のリスクが高まるなど、移動投票所の設置は難しいです。



防災訓練に参加の静岡県警察ヘリコプター (賀茂小)

# 救護所運営マニュアル感染症対策は (町長) 内容の充実を図ります



かわうち  
河内ひとみ 議員

**質問** 救護所は、4カ所（宇久須・安良里・田子・仁科）を予定しているが、大沢里地区では、設置の検討を行っているのか。

**町長** 大沢里地区には医師がいないため救護所は設置予定がなく、孤立時に備えて自衛隊や県のヘリで重症者を搬送できるよう訓練を行っています。

**質問** サテライト型救護所の設置を検討しては。

**健康福祉課長** 医療機関との協議や、訓練で検証を重ねながら、サテライトの必要性も含めて研究していけたらと思います。

**質問** 平時から訓練や研修を実施していくのか。

**町長** 訓練や研修会を各地区で開催し、多くの町民が参加できるよう拡充していければと考えています。

**質問** 救護所運営マニュアルの感染症対策は。

**町長** 今後、県や医療機関からの助言を参考に、必要な項目の追加や内容の充実を

図ります。

## 家族介護者支援は

### 解決すべき課題がある

**質問** 家族介護者同士の交流支援は。

**町長** コロナ禍以前におきましては、介護者の集いを開催していましたが、廃止した経緯がございます。介護者カフェ等の取組を実施するに当たっては、参加者の確保など、解決すべき課題があると認識しています。

**質問** ショートステイの緊急枠の利用状況は。

**町長** 施設側のご協力により、可能な範囲で受入れ調整を図っていただいているところです。

**質問** 緊急入所の支援は。

**町長** 関係機関と連携し、できる限り迅速に対応する体制をとっており、町内施設の利用が難しい場合には、病院へのレスパイト入院<sup>※</sup>や、町外の施設を案内するなどの対応をとっています。

<sup>※</sup>家族や介護者の休息や、冠婚葬祭目的の短期入院



宇久須地区の救護所設置訓練の様子



なかだよしえ  
仲田慶枝 議員

## 児童公園の新たな整備は (町長) 津波避難施設の近くに

**質問** 当町には子どもたちが遊べる公園が不足していて、以前からこども園の保護者からは児童公園整備の要望が寄せられている。移住の条件にも安心安全な子どもの遊び場があることが上位に挙がっている。家の近くで日常的に遊べる児童公園の整備が必要と考えるが、既存の公園の再整備を進めること、さらに新たに公園を作ることは検討しないか。

**町長** 子どものいない地区、また津波浸水想定区域内にある公園の再整備は有意義ではありません。

新たな児童公園の整備は津波避難施設が近くにあることが条件になります。

### 堂ヶ島エリアの再整備は

#### 8年度に計画策定

**質問** 当町の主産業である観光業の発展には堂ヶ島エリアの活性化が命の綱となる。8年度予算に堂ヶ島観光地エリア景観計画策定業

務委託が計上されているが、どのように進めるのか。

**町長** 8年度に委員会を設けて検討、アドバイザー及び計画書作成を業務委託、9年度に詳細設計、10年度から工事を予定しています。

**産業振興課長** 県の補助金を活用し、税率の改正をした入湯税も充てていきます。堂ヶ島エリアの磨き上げを図りたいと考えます。

### 証明書発行手数料改正は

#### 郡内の動向を見て検討

**質問** 住民票、印鑑登録証明

書及び税証明書の発行手数料は200円のままで、条例改正の際に手数料の引き上げも検討している。手数料は受益者負担が原則であるのに引き上げを見送った理由は、今後改正はないのか。

**町長** 賀茂郡下では200円の町が多かったからです。今後は郡内の動向を見ながら検討します。

**質問** 手数料にコンビニ交付と差をつければ窓口業務の軽減につながるのでは。

**町長** 人口構成から見て増えるとは思えませんが、今後検討します。



宇久須浜 牛越神社境内の遊具

# こども園と学校再編は前進か停滞か (教育長) 計画が白紙になったため停滞



つみ けい すけ  
堤 圭 祐 議員

**質問** 教育大綱のこども園と学校再編は前進か停滞か。

**教育長** 5年1月に計画が白紙となったため学校再編は停滞です。ただ、小学校や給食センターの統合、施設改修、津波避難シェルターの設置、情報機器の整備、複式補助教員の確保など、教育環境の充実は前進しています。

**質問** 不登校の課題認識と町としての支援は。

**教育長** 全国的に不登校児童が増加しており、当町も同様に増えています。担任の家庭訪問や田子公民館の教育支援センター設置を行っています。県のバーチャルスクールもあり、活用を期待しています。

**質問** 中学校の部活動に伴う教員の働き方の問題は。

**教育長** 競技経験のない教員が顧問をすることや、休日の部活動が負担になっています。早期の地域移行を期待しており、熱心な先生は兼職兼業も可能です。

**質問** こども基本法では、子どもの意見表明の機会や意見の尊重を国や自治体の責務としている。教育大綱や基本方針の作成に、子どもの意見を取り入れているか。

**教育長** 今の教育委員会では、マンパワーが足りず、現在は行っていません。

**質問** 町として子どもの意見募集を行う考えはあるか。

**町長** 4年前から子ども議会として意見を述べる場を設けています。ただ、全員の子供から意見を聞く場はないので、学校で機会を作ってもらえれば聞きたいです。

## 協力隊募集の公平性は 特定の分野に偏らない

**質問** 募集の公平性の確保は。

**町長** 町の課題解決という目的から逸脱することがないように、特定の分野や関係者に偏らず、公平性・公益性を重視しながら進めていきます。

**質問** 定住率を高める工夫は。

**町長** 定例会や面談で要望を確認し、普段から相談できる体制づくりが必要と考えています。現役隊員がOB・OGと交流できる仕組みを検討していきたいです。



仁科小学校 卒業制作



あさ か もと き  
浅賀元希 議員

## 調査結果が出た後の進め方は (町長) 議員のご意見を伺いながら

**質問** 認定こども園は、建設方法ごとの概算費用を比較するために調査しているが、結果が出た後の進め方は。

**町長** 現在、盛り土やピロティ構造など14パターンの概算費用を算出しています。業務が完了した後に、議員に概算費用を提示した上で、ご意見を伺いながら進めていきたいと考えています。

**質問** 認定こども園建設は、最低でも4～5年かかると思われるが、その間の子どもたちの安全対策は。

**町長** 6年度から今年度にかけて両認定こども園にシェルターを設置しました。100%の安全が保障されるというものではありませんが、避難対策の選択肢が増えたと考えています。引き続きいろいろな想定を考慮しながら、避難訓練を重ねていきたいと考えています。

**質問** 役場庁舎は、耐浪性がなく、大きな津波に襲われた場合、庁舎が使用できない恐れがあるため、検討委

員会を設置し、認定こども園、小学校と庁舎問題を総合的に協議するべきでは。

**町長** 住民のご意見を大切にしなければなりません。どなたの意見も聞いていない段階で私の方針を示しますと、住民の意見を聞かないと言われかねませんので、認定こども園、小学校の方針が決まり次第、委員会を立ち上げ、方針を決めていきたいと考えています。

### 財政の持続的健全化は

### 財政計画は必要です

**質問** 町の健全化判断比率は適正に推移しているが、今後の大型施設整備による負担増や一般財源の減収などにより財政が厳しくなることが懸念される。将来に備えた財政計画が必要だと思うが、持続的に健全化を図るための心構えは。

**町長** 財政計画は必要ですが、大規模事業の計画が不透明のため、概算費用も見込めない状況です。現時点では財政計画は策定できていません。



概算費用調査が行われている旧西伊豆中学校跡地

# 観光と1次産業の振興策は

## (町長) 観光消費の地域内循環を高めます



いそ 磯 議員  
きよ ひこ 清彦 議員

**質問** 観光と地域資源、1次産業を連携させた振興策は、どのような方向性を考えているか。

**町長** 観光事業者、1次産業従事者、地域団体などと連携を図りながら、地域資源の活用を進め、観光消費の地域内循環を高める取り組みを推進していきます。

### 事前復興プランは

#### 現在は未着手

**質問** 災害発生後の復興スピードを上げるため、事前に復興プランを作成してはどうか。

**町長** 復興のプランは必要と考えていますが、現在は未着手です。個人の生活や財産にかかわる可能性があるため、慎重に進めていきたいと考えています。

### 仮設住宅の候補地は

#### 町内に5カ所確保

**質問** 災害発生時の仮設住宅

候補地や恒久住宅の確保は、どのような検討がされているか。

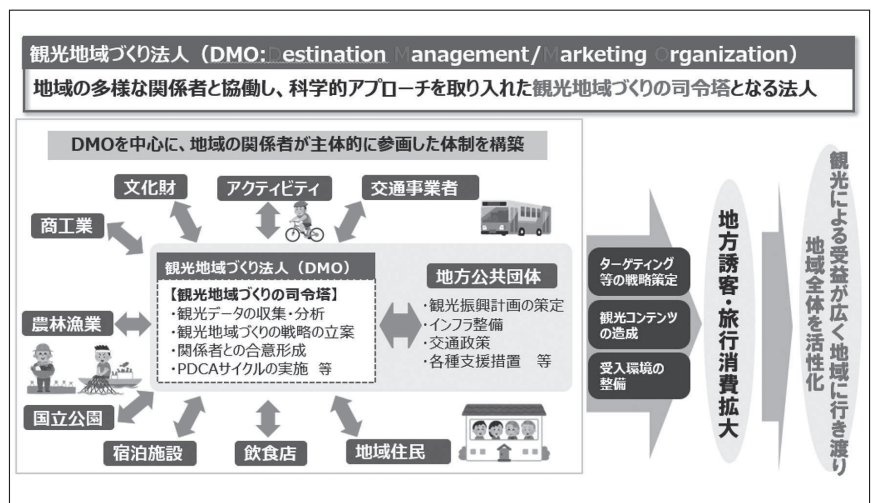
**町長** 仁科漁港埋立地、田子漁港埋立地、賀茂小学校グラウンド、旧田子中学校グラウンド、旧安良里小学校グラウンドの5カ所が予定地となっています。しかし、賀茂小学校グラウンド以外の4カ所は、津波浸水想定区域内となっています。また、災害協定を結んでいる市町や姉妹町と用地確保などの相談をしているところです。

### 高台への避難路整備は

#### 地区要望で対応

**質問** 山林など高台への津波避難路で、整備が必要と思われる箇所があるが。

**町長** 避難路の草刈りや清掃など、管理は各地区にお願いしています。手すりの設置など多額の費用がかかる工事は、地区要望を提出していただき、内容などを精査した上で、対応しています。観光客向けに、避難施設への誘導看板の設置もしています。



観光地域づくり法人 (DMO) のイメージ図 出典 観光庁



やまもと 山本 豊 議員

## まちづくりの取り組みは (町長) まちづくり協議会を設置

**質問** 行政と住民が共通の目標を持ち、まちづくりに取り組むための具体的な仕組みは。

**町長** 平成21年3月に策定した夕陽のまちづくりマスタープランに基づき、地区の代表者などで構成する、まちづくり協議会を設置しています。

**質問** その成果は。

**町長** 自ら解決できる課題は自分自身で、といった自助、共助、公助の意識の醸成に取り組み、田子地区、安良里地区では、今も地域課題の解決に向け活動を続けています。

### チャレンジをする場合は

#### 町は積極的に応援

**質問** 移住者、若者が新規事業にチャレンジをする場合、どこに相談すればいいのか、どんな支援が受けられるのか、心がけることがあれば助言を。

**町長** 移住されて、空き家情

報バンクに登録された、空き家を購入する際は改修補助もありますし、町は積極的に応援しようというスタンスをこれまでも、これからも取り続けていきます。

**質問** 大沢里3号温泉の湧出量と未利用温泉水の活用方法は。

**町長** 現在の湧出量は毎分710㍓、利用量は500㍓、未利用分は210㍓となります。やまびこ荘の温泉プールは未利用温泉の有効利用です。

**質問** 町は温泉水の農業利用の実現可能性を検討する考えはあるか。

**町長** 未利用分のある祢宜の畑温泉であれば、一考の余地はあるかもしれません。

**質問** ふるさと納税の減少要因は。

**町長** 返礼品のトレンドが高級品と生活必需品へシフトしたからと考えられます。

**質問** 返礼品開発の支援制度はあるか。

**町長** 返礼品の開発やテスト販売に特化する支援制度はありませんので、商工会や国の支援制度を活用することがよろしいと考えます。



やまびこ荘の温泉プールと未利用の温泉

## 防犯カメラの設置計画は (町長) 7カ所を検討中です



つちもと なおや  
土本直矢 議員

**質問** 町内の要所（通学路・観光地など）への防犯カメラ設置計画の現状、プライバシー保護のための運用ルールの策定、および住民対応窓口の整備は。

**町長** 8年度予算に概算費用を計上しました。現在、約7カ所の設置場所や機種種の検討段階です。運用ルールや苦情対応は、静岡県ガイドラインを参考に、プライバシーに配慮した整備を進めます。

### はんばた市場の経営は

#### 売上・来客数ともに増加

**質問** 協力隊人件費を含めた実質採算の評価と協力隊員任期満了後の継続雇用の方針、および既存民間事業者との役割分担の再調整は。

**町長** 売上げ、来客数ともに増加傾向にあり、収支は改善傾向にありますが、施設単独で常勤人件費を賄う水準には至っていません。任期満了後の雇用は、本人の

意向を踏まえ、指定管理者と検討すべき事項と考えます。既存民間事業者との関係は、観光協会などと協議を重ね、共存を図りつつ役割分担の調整を継続します。

### ふるさと納税の寄附額は

#### 6億円程度の見込み

**質問** 今年度の寄附額の見込みと、2年連続で目標未達となった要因は。

**町長** 見込みは6億円程度です。目標未達の要因は市場トレンドの変化や返礼品の周知不足と考えます。8年

度は、寄附額増につなげるため、情報の発信力や広報力など、専門的な知見や技術を有している民間事業者へポータルサイトの管理運営を委託します。

### ハラスメント研修の実施は

#### 3月にカスタハラ研修を予定

**質問** ハラスメント研修の継続実施と、今後の方針は。

**総務課長** 3月にカスタマーハラスメント研修を予定しており、パワハラなどの研修も機を捉えて検討を継続します。



新鮮な海産物や地元農産物を販売する はんばた市場

# 議会の動き

## 第 1 常任委員会報告

1月29日（木）教育委員会・会計課の所管事務調査を行いました。

### 教育委員会

#### ① 生涯学習

青少年の健全育成でわんぱくクラブ、子ども議会など、生涯学習では親子漁師体験や親子林業体験などの事業が活発に行われている一方で、子ども会球技大会の郡大会廃止や女性会解散による補助金不要も起きています。公民館などの老朽化により施設維持管理費が大きくなっています。

#### ② 生涯スポーツ

プロスポーツ公式戦PR冠試合は参加者に好評で子どもたちのスポーツ意欲向上につながっていますが、事業費が高額なため、今年度から受益者負担で参加費をいただきます。市町対抗駅伝は将来を担う選手の発掘・育成・強化を目指すものですが、選手の確保が年々難しいのと担当職員の時間外勤務の常態化により大会参加が危ぶまれます。2月に主催者側に柔軟な運用を申し入れました。

### 会計課

#### ① 基金

将来に備えて蓄えられている基金ですが、町では8年3月末で約74億3千万円を積み立てています。所管課による資金管理委員会が組織されています。今後はだんだん目減りすることが予測されています。

#### ② 債券運用

現在約32億円を運用しています。普通会計は一括運用にしており、基金全体での資金流動性が向上しています。

#### ③ サンセットコイン事業会計

7年度まで特別会計としていたものを8年度から歳計外現金での資金管理となり、サンセットコイン事業基金は廃止となります。成果は年度末の成果説明書に記載されることとなります。

## 第 1 ・ 第 2 合同常任委員会報告

認定こども園建設候補地に関する調査および意見集約を目的に7年度に3回にわたり検討しました。

12月15日に議長に報告書を提出、16日に議長から町長に提出しました。

#### 【委員会の活動状況】

- ① 10月1日：意見集約
- ② 10月17日：第二候補地見学と意見集約
- ③ 11月17日：両認定こども園新旧役員有志及び両園長に経過説明と意見交換
- ④ 12月8日：意見集約と報告書に関する協議

#### 【報告まとめ】

第二候補地①田子小学校（田子地区）は不適である。

第二候補地②旧西伊豆中学校跡地（仁科地区）が適当である。

ただし、どのように建てるかは意見をまとめきれなかった。切土造成、盛土造成、ピロティ構造の比較検討資料が不十分であるため、現時点ではどの建設方法を選択するかについては意見集約ができなかった。子どもの安心安全のために、当局側にてそれぞれの建設方法について費用や安全性を検討していただきたい。

※教育委員会は、3月末までを工期として文教施設整備計画方針比較検討用概算金額を14のパターンで算出する業務委託をしました。

第1常任委員長 仲田 慶枝

## 第 2 常 任 委 員 会 報 告

1月28日（水）建設課・防災課、2月4日（水）産業振興課・まちづくり戦略課の所管事務調査を行いました。

### 建設課

#### 地区要望の対応状況

地 区	処理済	処理中	未処理	他部署	困難	計
字久須	3	0	2	2	0	7
安良里	1	3	0	0	1	5
田 子	3	7	3	0	0	13
仁 科	3	5	1	0	0	9
中～大沢里	7	3	2	1	0	13
合 計	17	18	8	3	1	47
進捗割合	36.2%	38.3%	17%	6.4%	2.1%	

### 産業振興課

#### 《農林水産係》

人員確保・移住施設：釣り移住施策「西伊豆& ANGLER」5年度開始

農業：スマート農業や農業の工場化を模索中

林業：木質バイオマス発電事業中止に伴い  
素材生産に向けた整備から保育間伐へ

漁業：ネイチャーポジティブの推進  
ウニ駆除・アオリイカ産卵床設置

#### 《ふるさと納税係》

返礼品：紙の感謝券を復活

### 防災課

#### 7年度工事箇所

- ・大浜避難地転落防止柵設置工事
  - ・避難誘導看板設置工事
  - ・防災行政無線親卓更新工事
  - ・Jアラート受信機更新工事
  - ・防災行政無線子局更新工事
- 《現地調査》
- ・仁科築地地区津波避難タワー建設工事
  - ・大浜避難地転落防止柵設置工事

### まちづくり戦略課

#### スマホ教室

高齢者をはじめとする町民の皆様が、スマートフォンを安全に活用できるよう基本操作の習得及び日常的な疑問・不安の解消を目的とし、スマホ教室及びスマホの困りごと相談会を実施しています。

《対象者》

スマホ教室：町民

スマホ困りごと相談会：65歳以上の町民

## 第2常任委員会千葉県南房総市・勝浦市行政視察



勝浦市観光協会と市議会の皆さんと

1月21日～22日に南房総市と勝浦市視察に行きました。南房総市では花き、獣害対策、道の駅などの説明を受け、8カ所の道の駅が地元の活性化に役立っていました。勝浦市では朝市と歴史、漁港直送の流通の仕組みなどの視察をしました。

町の発展に何が必要か、視察を通し観光と地域資源の一体化など、地域経済の活力になる街づくりを実感しました。

第2常任委員長 加藤 タツ子

# 一部事務組合議会の紹介

## 西豆広域行政組合議会

### 【構成自治体】

西伊豆町 松崎町

### 【共同処理する事務】

- (1) し尿処理施設の管理及び運営並びに事務
- (2) 火葬施設の建設及び事務

### 【議会の組織】

組合議会は、構成自治体の議会議員の中から選出された議員で構成され、議員定数は6人で、西伊豆町・松崎町からそれぞれ3人ずつ選出されています。

### 【組合事務所の位置】

組合の事務所は、松崎町江奈647番地の1に設置されています。

### 【組合の経費】

組合の経費は、構成自治体の負担金その他の収入を充てています。



新斎場建設予定地の現況

《新斎場入札等の結果》

### 【西豆新斎場建設工事】

契約額 8億7450万円

契約者 河津・青木・国本特定建設工事共同企業体

### 【西豆新斎場火葬炉設備設置工事】

契約額 1億4850万円

契約者 株式会社宮本工業所（富山県富山市）

※新斎場は9年4月から供用開始予定です。

## 南伊豆地域清掃施設組合議会

県は市町によるごみ処理の広域化及び一般廃棄物処理施設の集約化に向けた「静岡県一般廃棄物処理広域化マスタープラン」を策定しました。このマスタープランでは賀茂地域で1施設となっていたが、市町の保有する焼却施設の老朽化が激しい1市3町での取り組みとなりました。町の焼却施設は平成10年稼働開始、耐用年数20～25年と言われる中、令和5年には25年が経過していました。

【構成自治体】 下田市 南伊豆町 松崎町 西伊豆町

【議会の組織】 下田市4人、他3町2人ずつ、計10人（組合事務所の位置）下田市数根13番8号

### 【組合の動向】

広域ごみ処理施設整備検討においてストーカ式焼却施設の建設が決定しました。5年4月組合議会設立。6年7月いよいよ工事という段になり試算したところ、当初250億円あまりを予定していた事業費が高騰し、合計305億円ほどになることがわかりました。12月に下田市が各市町の負担金等の再検討を申し入れ、南伊豆町が組合からの離脱を申し出、結果的に7年度末での組合の解散となりました。

### 【組合議員から】

8年度は町のクリーンセンターの施設工事や修繕に約7千万円の予算が組まれています。このまま使うのであれば大規模修繕不可避の声も聞こえてきます。町では雑紙などの分別が進み、生ごみ堆肥化の検討も継続中です。循環型社会の実現にはどうしたらいいか、引き続き考えていきます。

令和8年4月15日 発行  
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会  
発行 静岡県西伊豆町議会  
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1  
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

### 【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、気軽にお聞かせください。TEL：(0558)52-1962